

農学生命科学部

第11回 研究推進セミナー

【第15回 発生・生殖生物学研究室コロキウム 共催】

【新学術領域研究 配偶子産生制御 共催】

プラナリアの行動を制御する神経機構

演者：井上 武 先生

京都大学

理学研究科・特定助教

日時：平成26年11月6日（木）

17:40～19:10

場所：弘前大学コラボ弘大8階大会議室



プラナリアは、進化上最初に集中神経系を獲得した動物として考えられており、最近では、脳機能のモデルとしても注目されるようになってきました。私たちは、プラナリアを使って、脳機能の基本的な原理を知るために、様々な行動を制御する脳の神経経路を明らかにする試みを行ってきました。これまでに、行動解析法とRNAi法による遺伝子障害と組み合わせることで、光、臭い、温度、接触刺激に対応する感覚神経とその感覚神経で受容したシグナルを脳内で処理するための神経経路を明らかにしてきました。セミナーでは、プラナリアの再生能力を織り交ぜたユニークな行動解析手法やプラナリアの脳高次機能についても紹介したいと思います。

主催：農学生命科学部生物学科 発生・生殖生物学研究室

小林一也（内線3587 kobkyram@cc.hirosaki-u.ac.jp）

共催：研究推進委員会 学部後援会